

☆健康・食育いきいき広場の開催

「健康・食育いきいき活動」「健康・食育いきいきノート」をモデル保育園で実践した大府市では、この取り組みを始め広く食育全般について、他の保育園児にも知つてもらうことを目的に大府市食育講演会を開催しました。

当日は、モデル保育園 3園の今回の食育に関する活動、取り組みを発表していくだくのと併せて、魚に関する豊富な知識をもったタレント「さかなクン」に講演いただきました。

会場には、多くの保育園児やその保護者の方々の参加があり、食育への関心の高さがうかがえました。

活動報告

トマトを育てたり、お芋を掘ったり、みんなで作った野菜は美味しかったです

園児の発表



「ぼくらフードファイター」をみんなでおどりました。

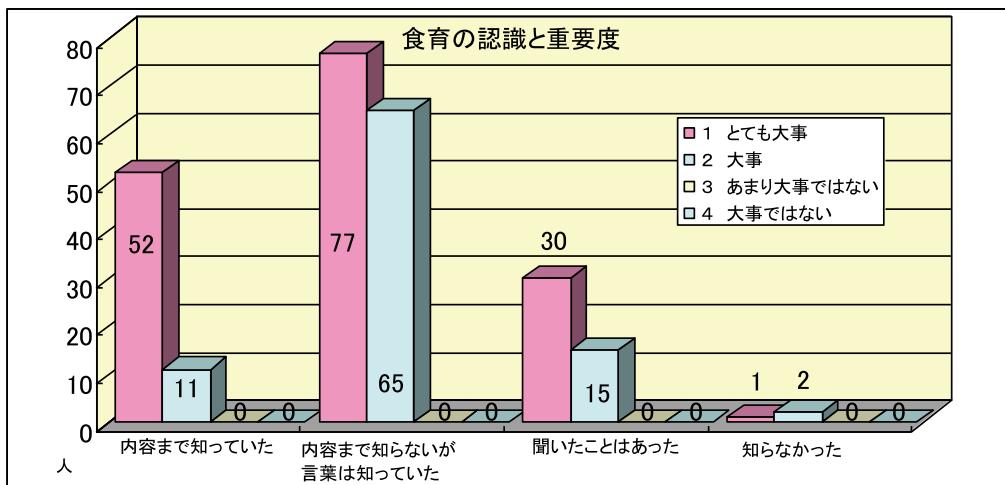
さかなクン講演会

さかなクンの紙芝居やクイズに、みんな興味津々！元気よく手をあげて答えました。



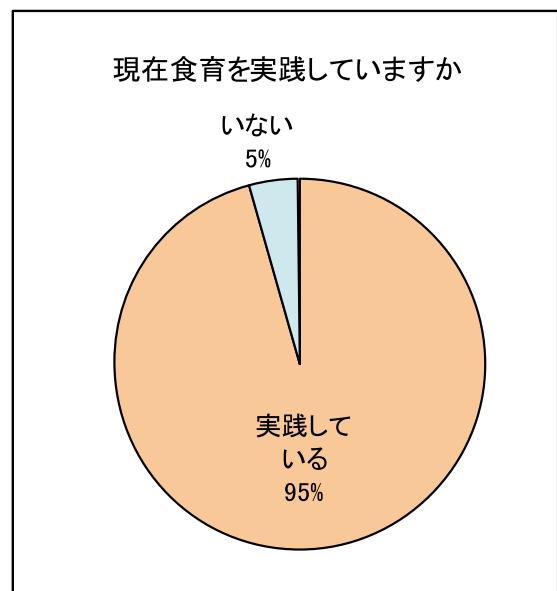
【事業全体の効果】

今回の事業実施にあたって食育に関する調査を実施したところ、食育という言葉について「内容まで知っていた」という人ほど、食育は「とても大事」と、その重要性を理解していました。したがってまず食育という言葉の認識を高めることが必要であると考えられます。



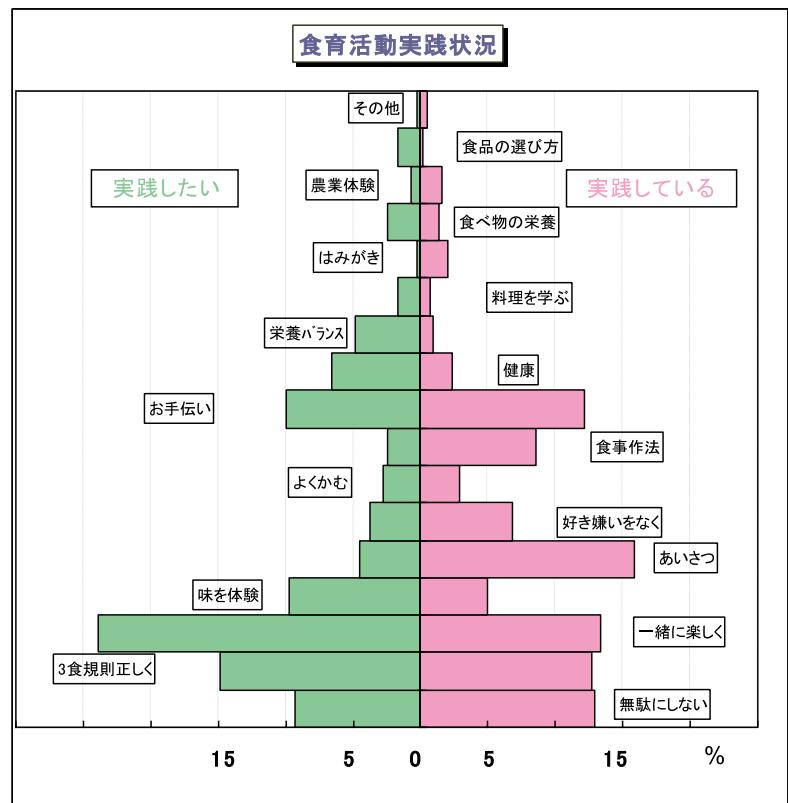
今回の事業実施した3保育園の保護者を対象に最初の健康・食育いきいき活動から約3か月ほど経過したところで、食育を実践していますかの問い合わせに対し、約95%の人が実践しているとの回答を得ました。

このことから今回の事業における活動やノートによる食育実践は、通園児を始め保護者等が食育に関心を持つきっかけになったようです。



実践している内訳で、多くの回答を得たものとして「食事の前後にあいさつをすること」(15.9%)「家族や友人と一緒に楽しく食事すること」(13.4%)「食べ物をむだにしない」(12.9%)と続いている。

「家族や友人と一緒に楽しく食事すること」は、食育の活動として「実践したいこと」(23.9%)として多くあげられたものの「実践していること」(13.4%)との乖離が約10ポイントありました。



【今後の期待】

毎日の生活の中で「食」を通じて、さまざまなことを学ぶ機会があります。

ただあまりにも日常的すぎてついつい忘れがちになっていることに今回の取り組みである「食育」があるようです。

今回実施した事業が、「食」についての関心を持つきっかけとなりましたが、今後より継続的に広めていくためには、県をはじめ関係機関や団体等が協力や連携を進め、県民一人ひとりの食育の認識を高め、食育に取り組めるよう促していくことが大切です。



【資料】

健康・食育いきいきノート

